

# 日本語のなぞなぞにおける言葉遊び

## —ベトナム語との対照—

### Nghệ thuật chơi chữ trong câu đố tiếng Nhật

(Đối chiếu với nghệ thuật chơi chữ trong câu đố tiếng Việt)

## 論文の概要

### 研究の内容

- ・ 第一章：日本語における言葉遊びについて

荻生待也氏の『図説ことばあそび遊辞苑』から、言葉遊びとは、言葉の意味・発音・リズム・表記・形質などを利用し、さまざまな形を遊戯化したものである。

日本でも言葉遊びの黎明が早々と『古事記』上つ巻に現れている。さらに平安中期、漢字仮名混じりの和文体が王朝文学を中心に定着するようになると、日本語の言語遊戯は一挙に花開く。鎌倉時代に芽生えた連歌は、室町時代には「俳諧の連歌」というより卑俗な文芸を生み出し、さらに近世に入り俳諧・雑俳などの短詩文芸分野を形作る。

ことば遊びは様々な場面で使用されている。広告やCM、レクリエーション、そして学習。

言葉遊びが12系統ある。

・ 第二章：日本語のなぞなぞにおける言葉遊び

なぞなぞとは、言語の裏に予想外の意味を持つ質問をし、その意味を当てる遊び。「なぞなぞ」が歴史的に、口承なぞなぞ、上流階級のなぞと童謡のなぞがある。鈴木(1981)は、日本のなぞなぞを「二段なぞ」、「三段なぞ」、「考えもの」、「やまとことば」の4種に分類している。また、なぞなぞの長さにより、短いなぞなぞと長いなぞなぞがある。

なぞなぞの構造についてPetschが提案した5つの要素を池上(1992: 169)は、(i) 導入的枠組要素、(ii) 呼称的中核要素、(iii) 叙述的中核要素、(iv) 阻止的要素、(v) 終結的枠組み要素と訳している。池上は、(i)「導入的枠組要素」と(v)「終結的枠組み要素」は装飾部で、「なぞなぞ」にとって任意的要素であると述べている。(ii)「呼称的中核要素」、(iii)「叙述的中核要素」と(iv)「阻止的要素」は義務的要素である。

日本のなぞなぞにおける言葉遊びが色々使われる。考察した結果、それは駄洒落（同音異義語、類音語）、同義語、比喻そして変形型、漢字分解型である。その中で、同音異義語が最も多いなぞなぞに使用される。

・ 第三章：ベトナム語のなぞなぞにおける言葉遊び

日本と同じ、ベトナムには言葉遊びが広い範囲に使われる。しかし、ベトナムの言葉遊びの種類が違う。

#### ・ 第四章：日本語のなぞなぞにおける言葉遊びとベトナムとの対照

共通点について、日本とベトナムも同音異義語が使われる。日本語もベトナム語もどちらが音節の数の期限があるので、同音語が当然言語にあると思われる。

また、同義語も両方の国の複数のなぞなぞに現れる。

さらに、なぞなぞにはベトナムでも日本での比喩手法がよく使われている。比喩では、「喩える前にあった、元になっていること」と「喩えにより表現されること」と言う2つが少しだけ似ている。ベトナムのなぞなぞには、主題を人に喩えることが多い。

もう一つは両国のなぞなぞが漢字がよく挙げられる。日本語にもベトナム語にも漢字が使われているわけである。

最後はなぞなぞに反義語を使う言葉遊びである。

相違点について、文字の順序を変え、言葉の意味を変換する日本語の変形語に対し、ベトナムには、頭字音、韻、声調を転換し、新しい言葉になる語音転換を言うものがある。さらに、日本語とベトナム語のなぞなぞを考

察した上、ベトナム語と違って、日本語のなぞなぞが全然畳語を使わないことが見える。逆に、畳語がベトナム語によく使われる。

相違点の原因がふつつあると思われる。一番目は両語の違う言語の形態である。ベトナム語が孤立語であるが日本語は膠着語である。二番目は両国の文字の差から。日本はカタカナ・平仮名・漢字・ローマ字の四つの文字を使っている。一方で、ベトナムはローマ字のみを使っている。

## 参考文献

荻生待也2007『図説ことばあそび遊辞苑』遊子館

藤田慶三2007『ことば遊びで語彙を豊かにする』東洋館出版社

広野昭甫1982『学習意欲を高めることば遊びの指導』教育出版

鈴木清隆1984『ことば遊び，五十の授業子どものことばは遊びがいのち』太郎 次郎社エディタス

阿刀田高(2006)『ことば遊びの楽しみ』岩波書店

小林祥次郎(2008)『日本のことば遊び』 勉誠出版;新装増補版

中尾和美2010遊びと言葉遊び（言葉遊びから商品名・企業名へ）

永山文子遊びに取り入れた国語科教育について（）、

西田美樹2010学校教育におけることば遊び—ことば遊びの実践と考察

鈴木棠三1981『なぞの研究（講談社学術文庫492）』 講談社

鈴木棠三1975『ことば遊び（中公新書418）』 中央公論社

鈴木棠三1981『新版ことば遊び辞典』 東京堂出版

鈴木棠三1985『中世なぞなぞ集（岩波文庫黄130-1）』 岩波書店

Pipecello W.J.and Thomas A.Green 1984 「The Languages of riddles

Columbus:Ohio State University Press.

Duong Quang Ham 2005 「Việt Nam văn học sử yếu」 NXB Trẻ

Duong Quang Ham 2005 「Việt Nam thi Văn hợp tuyển」 NXB Trẻ

**Cu Dinh Cu 「 Phong cách học và đặc điểm tu từ tiếng Việt」  
NXB Giáo dục**

**Lang Nhan 2018 「 Chơi chữ」 NXB Tri thức**

**Le Trung Hoa-Ho Le 「Thú chơi chữ」 NXB Trẻ**

**Bui Thi Lan 2011 「Nghệ thuật chơi chữ trong lời dân ca xứ  
Quảng」 Tạp chí ngôn ngữ và đời sống**

**Xuân Thu 1998 「Câu đố dân gian Việt Nam」 NXB Trẻ**

**Hoàng Tiến Hựu 2000 「Văn học dân gian Việt Nam」 NXB Trẻ**

**Lam Giang 2016 「Tục ngữ ca dao về tình cảm gia đình」 NXB  
Văn học**

**Nguyễn Xuân Kinh 1999 「Kho tàng tục ngữ người Việt」 NXB  
Văn hóa thông tin**

**Vũ Ngọc Phan 2001 「Tục ngữ ca dao Việt Nam」 NXB Văn học**

**Mai Chi 「666 câu đố Việt Nam」 NXB Hồng Đức**

**Nguyen Thanh Huyen 2011 Luận văn 「なぞなぞにおける言  
葉遊び」 Đại học ngoại ngữ Đại học quốc gia Hà Nội**

**Đồng Bích Quỳnh 2011 「Từ trái nghĩa trong tiếng Nhật-Đối  
chiếu với tiếng Việt」 Đại học ngoại ngữ Đại học quốc gia Hà  
Nội**

**<https://nazona-zo.jp/index.htm>**

